

果と比較し評価するために（自己対照前向き観察研究），症例の登録を行っている。

〔登録症例数〕慶應大病院 202 例 慈恵柏 7 例 がん研有明 84 例 EDC 登録 合計：293 例（目標 300 例）。逸脱例も考慮して登録期間延長の予定。

〔審議事項〕

特になし

日本臨床細胞学会雑誌電子ジャーナル化ワーキンググループ（委員長 竹島信宏）

〔報告事項〕

1. WG では前回理事会の決定事項に基づき，日本臨床細胞学会雑誌の電子ジャーナル化の作業を進めている。
2. 近日に杏林舎，メディカルトリビューン社，インテルナ出版社の 3 社による入札の後，業者を選定する予定。

〔審議事項〕

特になし

頸部細胞診の自動化判定に関する研究班（委員長 森谷卓也）

〔報告事項〕

1. 各施設から標本を集めて解析を行っている。機器で読み込めない標本が予想以上に多いが，早期に終了するよう引き続き努力したい。
2. 統計解析を受託する機関より，研究の精度を高める目的で細胞検査士の判定精度保証試験を実施するよう推奨があり，委員会での同意と，標本を提供する川崎医科大学の倫理審査が終了したため，平行して検討を進める。

〔審議事項〕

特になし

施設認定制度の適正運用検討小委員会（委員長 小笠原利忠）

〔報告事項〕

1. 教育研修認定施設の現状について
教育研修認定施設：188 施設，勤務細胞診専門医：500 名（平成 26 年 5 月 15 日現在）
2. 教育研修指導医講習会受講状況について
教育研修指導医の新規認定にあたり，第 52 回日本臨床細胞学会秋期大会細胞診専門医セミナー（平成 25 年 11 月 3 日 於：大阪）の受講が認定要件。
認定候補専門医 500 名中，上記講習会に参加した専門医は 244 名（48.8%），不参加専門医は 256 名（51.2%）。施設別では，少なくとも 1 名の専門医が参加した施設は 140 施設（74.5%），1 名も参加していない施設は 48 施設（25.5%）。

[審議事項]

1. 教育研修指導医認定実務について
 - 1) 教育研修認定施設所属細胞診専門医全員を対象に認定作業を開始
 - 2) 上記セミナー不参加の専門医も暫定教育研修指導医として認定
(平成 28 年度までの受講を前提条件)
- 以上が承認された。

細胞診用語解説集作成ワーキンググループ委員会 (委員長 竹島信宏)

[報告事項]

1. 現在、絶版している細胞診用語解説集を改訂する。方向性として、コスト上の問題から書籍として出版するのではなく、ホームページ上に電子媒体として掲載し、とくに、細胞診用語解説集にしか掲載されていない用語に対し重点的に詳細な解説を行う予定である。また、日本医学会の用語集との整合性をとり、細胞診ガイドラインに合わせて作成して行く予定である。委員会の構成を以下の様に決定した。今後は分担割り当てを決定し具体的な作業に入る。作成期間は1 年間を予定。

委員長： 竹島信宏

副委員長： 佐藤之俊， 紀川純三

委員：

池上雅博 (慈恵病理)， 岡田真也 (保健化学病理)， 富永英一郎 (慶應産婦)， 矢納研二 (鈴鹿中央婦)， 小松京子 (がん研検査士)， 服部学 (北里検査士)， 河原栄 (金沢大病理)， 河内茂人 (山口大病理)， 三宅真司 (東京医大検査士)， 岡本三四郎 (がん研婦)， 遠藤浩之 (済生会新潟第二病院検査士)， 阿部英二 (北九州市立医療センター検査士)

幹事： 的田真紀 (がん研婦)

[審議事項]

特になし

閉会の挨拶： 青木大輔 副理事長

以上を以って本理事会の議題が終了し、平成 26 年度第 1 回理事会を終了した。

平成 26 年 7 月 22 日

この議事録が正確であることを証します。

理事長

佐々木寛 

監事

柏村正道 

監事

長村義之 

監事

長谷川壽彦 